

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	54	豊田市立 石畳小 学校	代表	渡辺有紀子
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	ふるさとのよさを生かした体験活動の推進	分野	b	地域連携
サブテーマ		[(その他)ほ分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>恵まれた自然と整えられた学習環境、温かい人情の中で、のびのびと育てほしいという地域や保護者の願いを踏まえ、地域のよさを生かした教育活動を推進する。</p> <p>(1)豊かな自然の中で生き生きと活動したり、地域の人々との交流を通したりして、ふるさとのよさを見つけ、進んで学ぶ子を育てる。 (2)農業体験や石畳ふれあい広場(足湯)の調べ学習、防災学習など、地域の特色を生かした学習を進め、校区の伝統文化や活動に関心を持ち、地域のよさを見つけ、伝えていこうとする心情を育てる。 (3)地域の特色を生かした体験的な活動を通して、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育てる。 (4)一人一人に寄り添った相談活動をすることにより、子どもたちの心の安定を図る。</p>			
活動内容・計画	<p>活動1：地域の農業や伝統文化を取り入れた学習、地域探検を通して地域を知る学習を進める。 昔遊びの体験(1年)、地域探検(1・2・3年)、石畳の環境を考える学習(4年) 稲作と米食・防災の学習(5年)、地域の未来や自分たちのできることを考える学習(6年) 野菜作り(全学年)</p> <p>活動2：地域の教育ボランティアや施設・文化財等を積極的に活用した学習を進める。 ボランティアによる読み聞かせ(全学年)、ハンドベル(6年) 石畳ふれあい広場の見学や出前授業(3・6年)</p> <p>活動3：地域の方に感謝を伝える活動を行う。 地域の方に感謝する会(全学年)</p> <p>活動4：定期的に行う教育相談活動 教育相談週間(5月と11月)、SCとの全員面談(3・6年)</p> <p>計画1：教育ボランティアの発掘と人材バンクの追加・整備、活動計画立案…4月・全学年 教育ボランティアを積極的に活用した学習の展開…通年・全学年</p> <p>計画2：農業体験・伝統文化体験の指導計画立案…4月・全学年 学年に応じた体験活動の実践…通年・全学年</p> <p>計画3：地域の方に感謝する会の計画立案…12月・6年 手紙の執筆…2月・全学年 会の進行等…2月・6年</p> <p>計画4：心の相談員による相談活動…通年(週4日14時間)・全学年 校内整備員による学習環境の整備…通年(週2日8時間)</p> <p>計画5：実践のまとめと反省・次年度の計画立案…2月・全学年</p>			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員が安心・安全な校内環境となるように整備を行う。 ・心の相談員が子どもたちの心の安定のために、児童との相談活動を行ったり、教員と情報交換したりする。 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を取り込むことにより、学校と地域との連携を深め、学校と地域が一体となって子どもを育てる活動を進めることができる。 ・地域の自然、施設等について地域の方や地域ボランティアから学び、伝統文化や産業等を調べ、自然の中や施設での体験を通して、自分たちの住む地域のよさを知り、地域に誇りをもって、郷土を愛する心を育てることができる。 ・自然の中での体験活動を通して、子どもたちの感性を磨くとともに、環境学習から自然環境を生かした生活の仕方を学ぶことができる。 ・地域の方に感謝する会を開くことや手紙を渡すことなどを通して、地域の方との結びつきを強くすることができる。 ・敷地内の学習環境を常時整備することで安全が確保され、子どもたちが安心して、のびのびと活動することができる。 ・日ごろからの児童の見守りや相談活動を行うことで、子どもたちの心の安定が図られ、安心して学校生活を送ることができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・単元や活動を終えてからの子どもたちの感想や振り返り ・保護者や地域の方の声(保護者アンケート・学校運営協議会) 			